



ふれあい 広場



神楽とは、神様に奉納する音楽と舞をいいます。二荒山神社では、毎年、1・5・9月の28日に行われています。この神楽には、十三種の舞があり、一通り覚えて人に見せられるようになるまでには、十年はかかります。中でも、道化の舞は型が決まっているので一番難しいですね。

親がやっていたので、自然と覚えるようになった神楽。しかし、神楽保存会の会員は十二人しかおらず最年長は八十歳。後継者不足が悩みです。1月28日は日曜日なので、若い人に、ぜひ、見てもらいたいですね。



戸祭2丁目 半田 実さん

かぐら
二荒山神社の神楽
昭和44年2月13日、市指定文化財。

文化財ウォッチング